



2011年3月期 決算説明会

2011年5月18日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



決算の概要（連結）

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

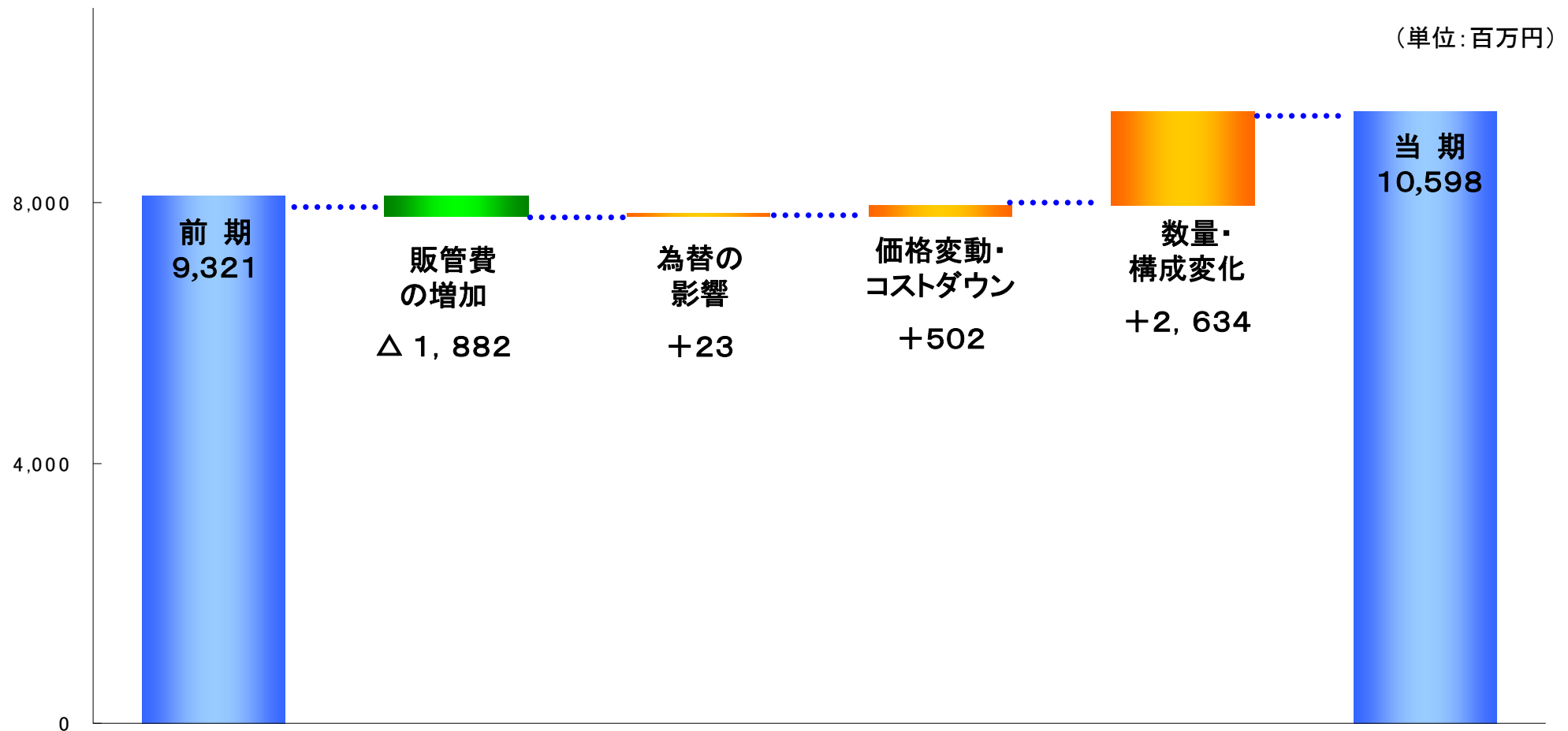
	前期 (2010/3)	当期(2011/3)			
		期初予想	前回予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	107,013	112,000	112,000	113,380	5.9
国内売上高	87,439	90,000	91,000	93,046	6.4
海外売上高	19,574	22,000	21,000	20,333	3.9
営業利益	9,321	10,000	10,000	10,598	13.7
経常利益	9,343	10,000	10,000	10,569	13.1
純利益	5,917	6,300	6,300	6,573	11.1

← 為替換算: 約△15億円(△8%)

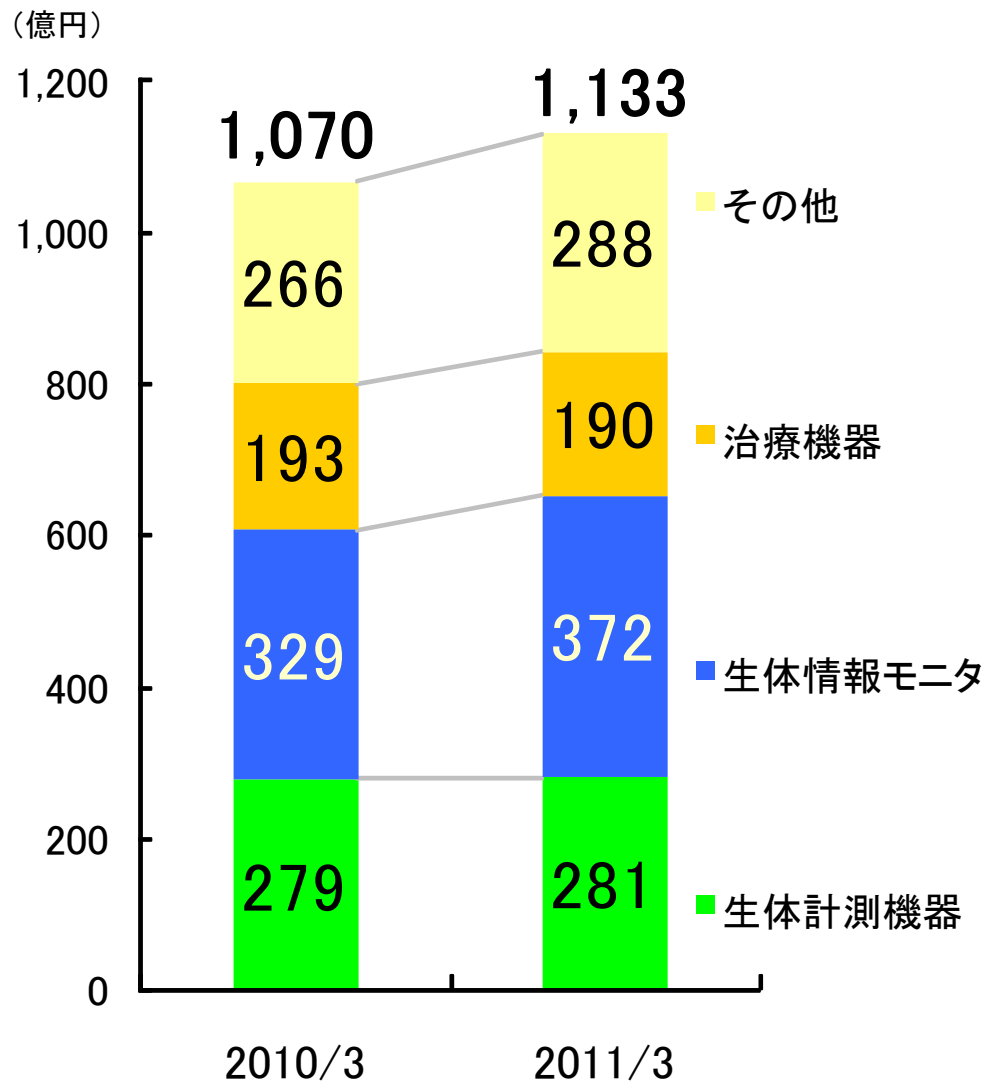
平均レート	(2010/3)	(2011/3)
1ドル	93	86
1ユーロ	131	113

※ 11/4 第2四半期決算発表時の予想数値

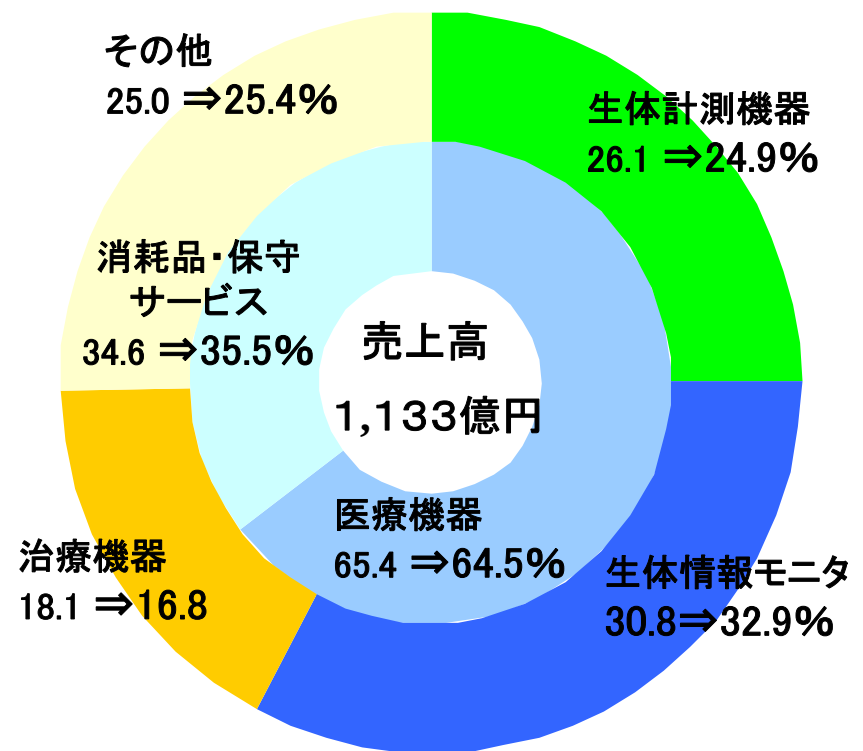
2) 営業利益増減の要因分析



3) 商品群別売上高



商品群別売上構成比
(2010/3⇒2011/3)



2011/3期から、従来「医療用品」に区分していた消耗品・保守サービス等を、「生体計測機器」「生体情報モニタ」「治療機器」「その他」に組み替えています。2010/3期の数値についても同様に組み替えて表示しています。

3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期(2010/3)	当期(2011/3)	増減率(%)
脳 神 経 系 群	7,099	7,498	5.6
心 電 計 群	6,109	6,346	3.9
心臓カテーテル検査装置	7,312	7,268	△ 0.6
そ の 他	7,455	7,075	△ 5.1
生 体 計 測 機 器 合 計	27,976	28,189	0.8
う ち 国 内 売 上 高	22,299	22,961	3.0
う ち 海 外 売 上 高	5,676	5,227	△ 7.9

※ その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位: 百万円)

	前期(2010/3)	当期(2011/3)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	32,993	37,274	13.0
うち国内売上高	24,516	27,403	11.8
うち海外売上高	8,477	9,870	16.4



WEP-5200
シリーズ



BSM-6000
シリーズ



送信機
ZS-530P

3.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前期(2010/3)	当期(2011/3)	増減率(%)
医科向け除細動器	4,835	4,080	△ 15.6
A E D	6,198	5,180	△ 16.4
ペースメーカー・ICD	3,468	3,292	△ 5.1
人工呼吸器	2,476	2,816	13.8
その他の	2,372	3,701	56.1
治療機器合計	19,352	19,073	△ 1.4
うち国内売上高	16,498	16,883	2.3
うち海外売上高	2,853	2,189	△ 23.3
(参考)AED販売台数	30,500	25,300	△ 17.0
うち国内販売台数	29,800	22,900	△ 23.2



AED-2100



心臓ペースメーカー Kiklos DR



人工呼吸器 HAMILTON-C2



パナソニック人工内耳

3.4) その他

(単位:百万円)

	前期(2010/3)	当期(2011/3)	増減率 (%)
検体検査装置	5,844	6,020	3.0
変成器、画像診断装置、研究用機器他	20,847	22,822	9.5
その他合計	26,691	28,843	8.1
うち国内売上高	24,124	25,798	6.9
うち海外売上高	2,567	3,045	18.6

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-6400

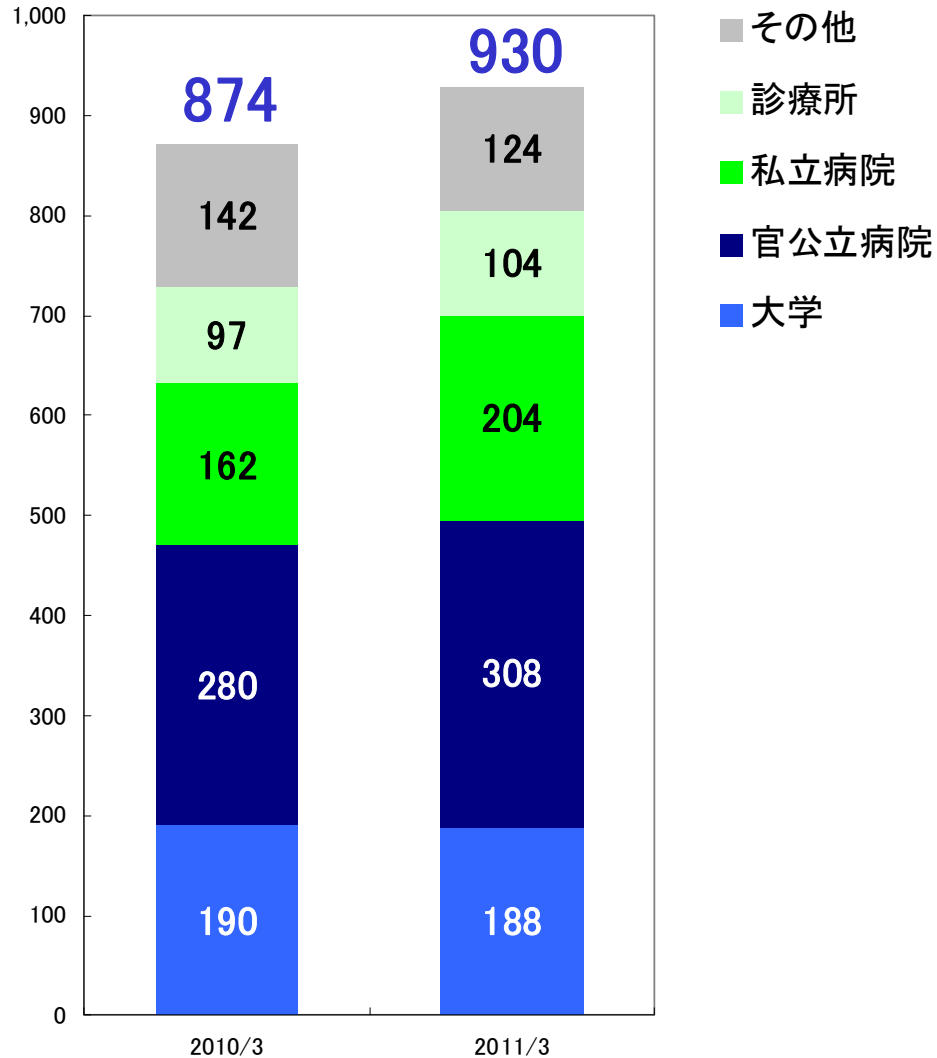


多チャネルテレメータシステム
WEB-1000

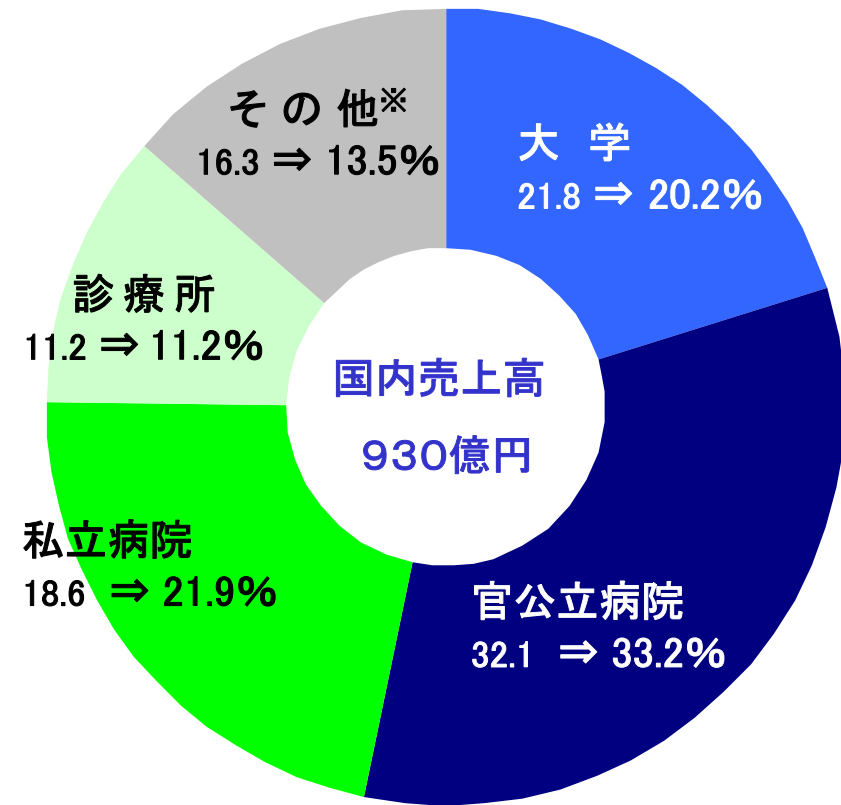
4) 国内売上高

(億円)

【市場別売上高】

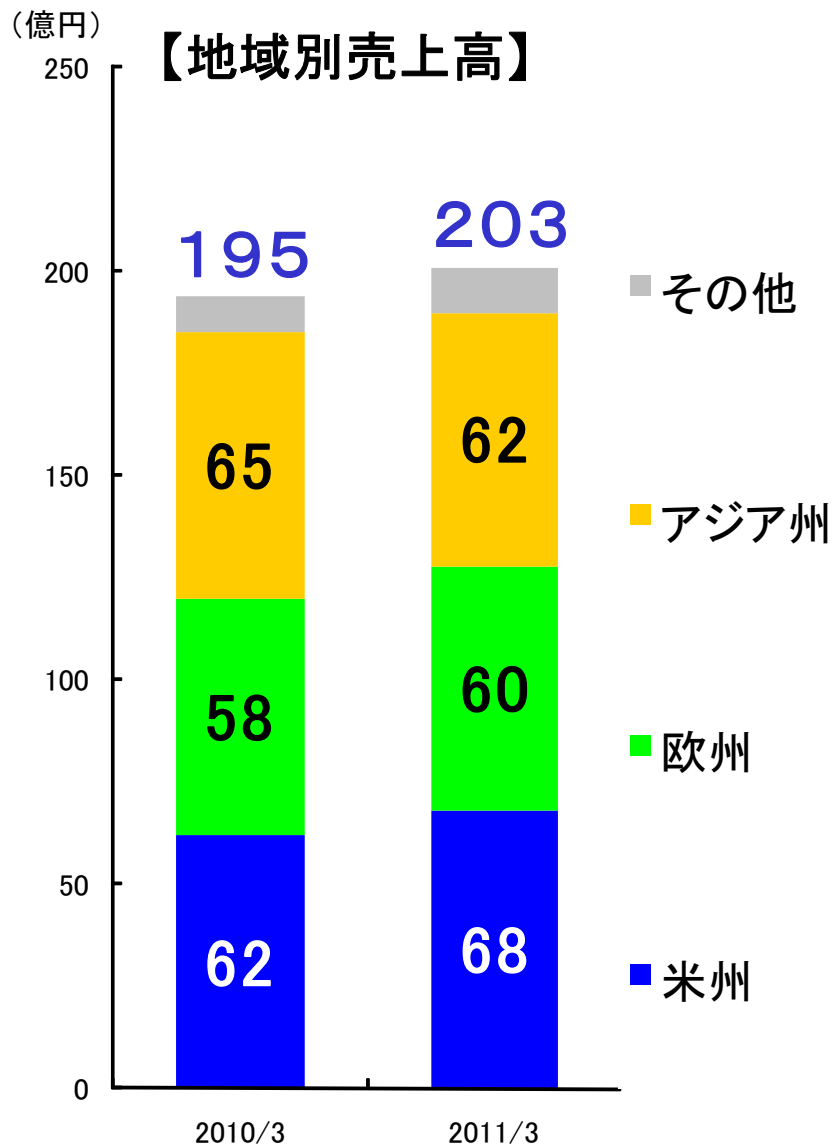


市場別売上構成比
(2010/3⇒2011/3)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

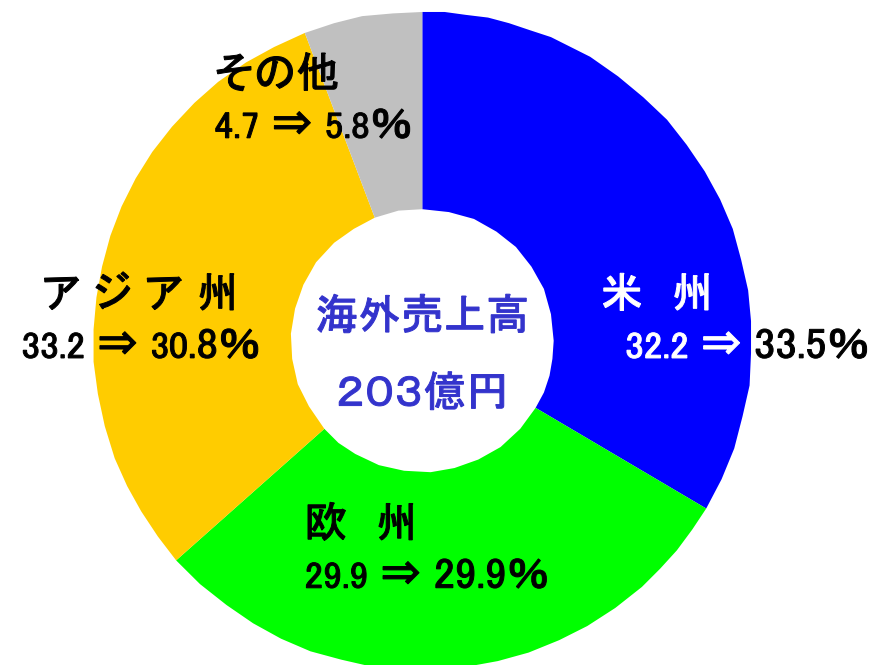
5) 海外売上高



海外売上高比率

2010/3	2011/3
18.3%	17.9%

地域別構成比 (2010/3⇒2011/3)



6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 (2010/3)	当期末 (2011/3)	増減額
流動資産	69,685	75,366	5,680
固定資産	18,315	17,129	△ 1,185
資産合計	88,000	92,495	4,495
流動負債	29,722	29,673	△ 49
固定負債	329	528	198
負債合計	30,051	30,201	149
純資産	57,949	62,294	4,345
負債・純資産合計	88,000	92,495	4,495

・売掛債権: +21 億円 (B/S 373億円)
 ・譲渡性預金: +20 億円 (B/S 95億円)

・有形固定資産: △ 5億円 (B/S 88億円)
 ・無形固定資産: △ 2億円 (B/S 40億円)
 ・投資その他資産: △ 3億円 (B/S 42億円)

7) キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	前期 (2010/3)	当期 (2011/3)	増減額	
I 営業CF	10,679	5,892	△ 4,786	(10/3) (11/3) 増減 棚卸資産の増減額 636 △778 △1,415 仕入債務の増減額 2,172 669 △1,502
II 投資CF	△ 2,810	△ 1,874	935	
FCF	7,869	4,018	△ 3,850	
III 財務CF	△ 2,850	△ 1,536	1,314	短期借入金の純増減額 △1,211 231 +1,442
換算差額	114	△ 3	△ 118	
増減額	5,133	2,477	△ 2,655	
期末残高	16,331	18,808	2,477	

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	2010/3 前期実績	当期(2011/3)		増減額 (年度比較)	2012/3 計画
		期初計画	前回計画※		
設備投資額	3,154	2,700	2,600	△ 1,350	2,700
減価償却費	2,507	3,100	3,000	187	3,200
研究開発費	4,418	5,200	5,000	687	5,400

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器、販促用製品 他
ERPシステム増強

●次期計画

主な設備投資:新製品の「型」投資、販促用製品、ERPシステム増強(6億円)
自家発電装置(6千万円)
研究開発費は増加

※ 11/4 第2四半期決算発表時の予想数値

次期業績見通し

1) 経営環境

- ・世界経済は緩やかな回復基調を維持、医療機器の需要も底堅く推移
- ・国内では、昨年度の診療報酬プラス改定や地域医療再生基金事業の実施を受け、急性期病院の設備投資は増加基調
- ・被災地域における医療復旧の取り組みが進むと思われる一方、東北・関東地域での電力供給不足の影響、原発問題に伴う日本製品に対する風評被害は不透明な状況

【海外】

米国は堅調を維持

欧州は、一部地域で財政悪化懸念あるも、ドイツなど主要国は堅調

中国、インドなど新興国は高成長が期待される

【国内】

急性期病院市場は総じて堅調

2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

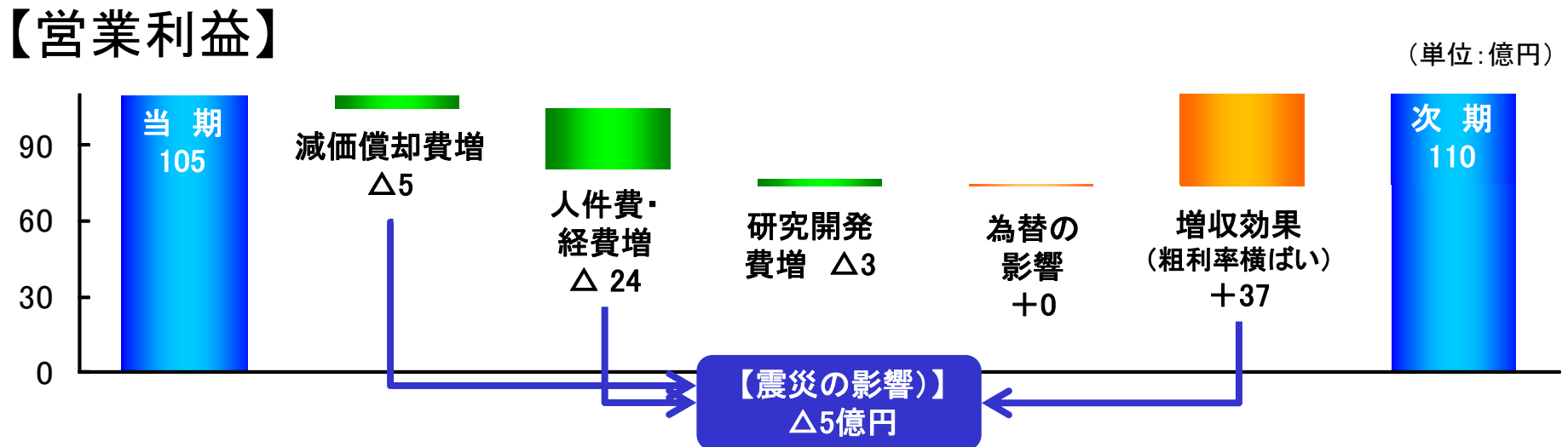
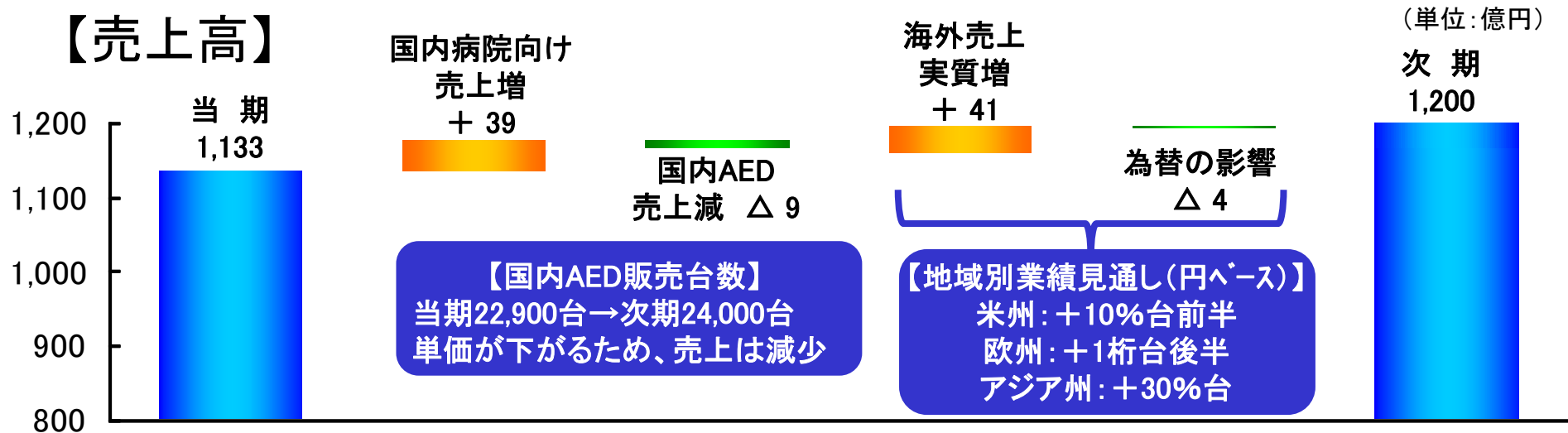
	当期実績 2011/3	次期予想 2012/3	増減率 (%)
売上高	113,380	120,000	5.8
国内売上高	93,046	96,000	3.2
海外売上高	20,333	24,000	18.0
営業利益	10,598	11,000	3.8
経常利益	10,569	11,000	4.1
当期純利益	6,573	7,100	8.0

海外売上高比率 17.9% 20.0%

平均レート

1ドル	86円	85円
1ユーロ	113円	110円

3) 次期業績見通しの要因分析



4) 東日本大震災の影響

損害状況

- ・建物、設備の被害は軽微。工場も通常稼働。
- ・被災地域の営業活動も通常どおり(原発警戒地域を除く)。

次期業績への影響

- [通期]** 売上: 部品不足の影響は、通期で解消する見通し
利益: 部品価格の上昇、夜間操業・自家発電装置購入など
電力不足対策によるコスト増
- [第1四半期]** 部品を確保済のため、影響は軽微
- [第2四半期]** 電子部品の不足により、医科向け除細動器、脳波計の一部
製品で生産・供給に影響が出る可能性(下期解消を目指す)。

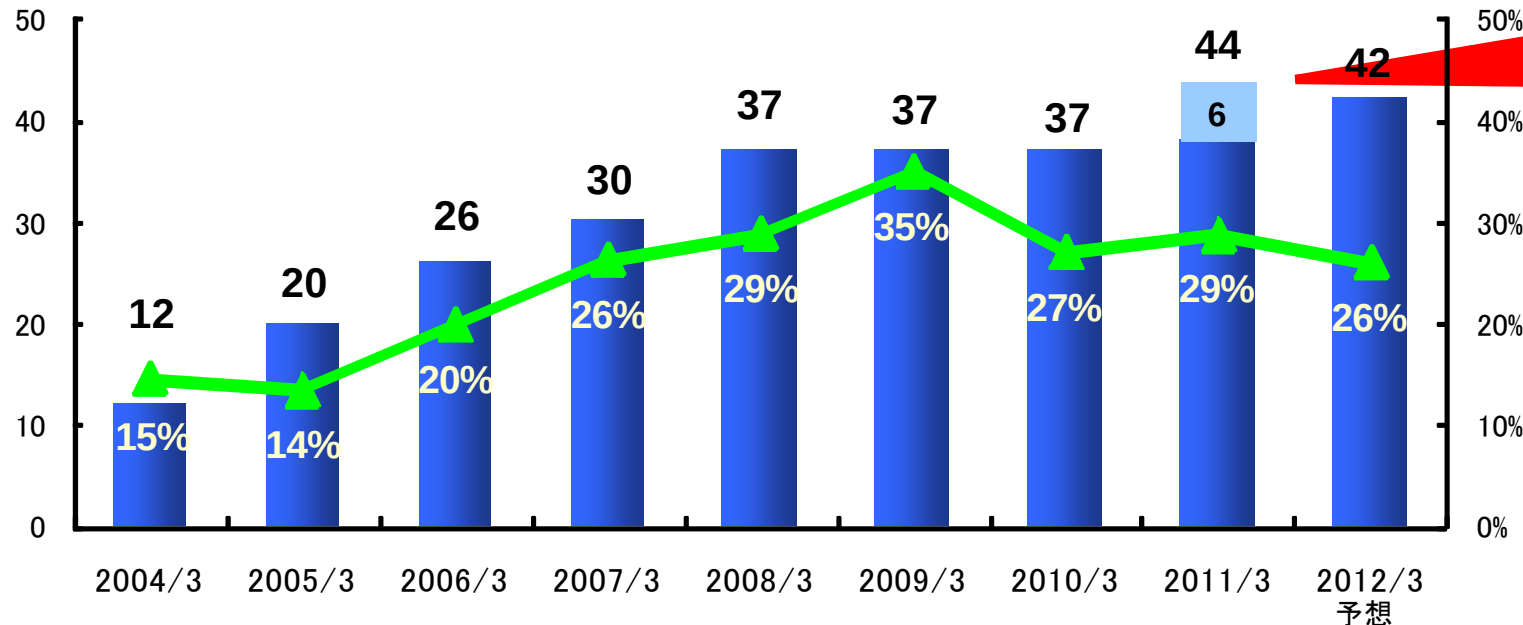
5)株主還元策

【基本方針】

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期にわたって安定的な配当を継続

当面の目安：連結配当性向30%

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



創立60周年
記念配当
6円を含む



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	当期実績 (2011/3)	次期予想 (2012/3)	増減率(%)
生 体 計 測 機 器	28,189	29,600	5.0
生 体 情 報 モ ニ タ	37,274	41,050	10.1
治 療 機 器	19,073	19,700	3.3
そ の 他	28,843	29,650	2.8
売 上 高 合 計	113,380	120,000	5.8
(ご参考)			
消 耗 品 ・ 保 守 サ ー ビ ス	40,236	42,500	5.6

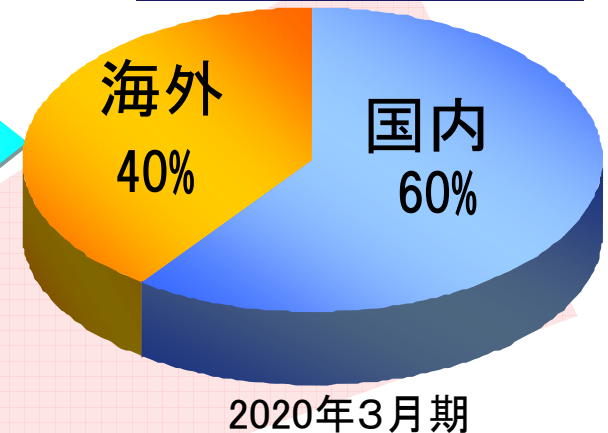
当社の基本戦略

1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

The CHANGE 2020
—The Global Leader of Medical Solutions—

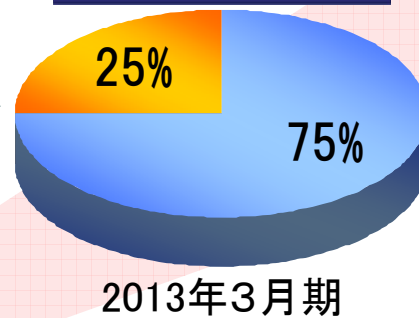
2,000億円以上



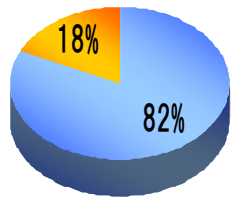
中期経営計画
(2010/4～2013/3)

SPEED UP III

1,300億円



売上高1,070億円



2010年6月

政府の「新成長戦略」

ライフ・イノベーション

II

医療・介護・健康関連サービスの
需要に見合った産業育成と
雇用の創出、新規市場約50 兆円、新規雇用284 万人

2020年目標

2) 中期経営計画 数値目標

	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 見通し	2013/3 中期経営目標	3カ年 伸び率
売上高	1,070 億円	1,133 億円	1,200 億円	1,300 億円	21.5%
国内売上高	874 億円	930 億円	960 億円	975 億円	11.5%
海外売上高	195 億円	203 億円	240 億円	325 億円	66.0%
営業利益	93 億円	105 億円	110 億円	130 億円	39.5%
ROE	10.6%	10.9%		12.0 %	

地域別海外売上高

計画策定時の為替の前提: 1ドル90円、1ユーロ130円

米州	62 億円	68 億円	+10%台前半	94 億円	49.2%
欧州	58 億円	60 億円	+1桁台後半	88 億円	50.1%
アジア州	65 億円	62 億円	+30%台	130 億円	99.8%
その他	9 億円	11 億円		13 億円	43.2%

3) 中期経営計画 重要課題

SPEED UP III

1. 品質向上活動の推進
2. 技術開発力の強化
3. コア事業の拡大・強化
4. グローバル化の加速
5. 新規事業の創造
6. 企業体質の強化

4) 重要課題のキーポイント

①品質向上活動の推進

品質方針

日本光電の製品を買ってよかったと
お客様にのちのちまで満足していただける状態を保つこと

開発

生産

販売・サービス

安全性試験の強化

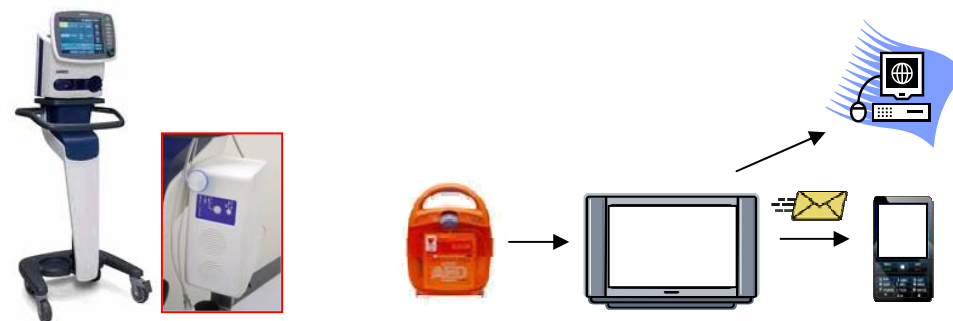
量産品製造における不良率低減

不具合対応の迅速化と
次製品開発へのフィードバック

- 治療機器の品質向上に特化した、「信頼性・安全性統括部」を新設

医療安全に寄与する商品の開発

- 人工呼吸器モニタ、
AEDリモート監視システムを開発



②技術開発力の強化

コア技術の融合



製品の差別化

脳波計&モニタ

NICU・ICUでの脳波測定

使用環境に合った 省スペース型『脳波計』

- ・ベッドサイドモニタからバイタルデータを取り込み
- ・脳波の変化を捉え易いトレンド(aEEG等)表示



2011年上期発売予定
(国内)

除細動器&モニタ

ILCOR※国際コンセンサスでは、
救急搬送時の12誘導ECGを推奨

モニタ機能を強化した ハイエンド『除細動器』

- ・救急車-病院の連携強化
(12誘導心電図伝送/モニタシステムとのデータ連携)



2011年上期発売
(海外)

※国際蘇生連絡協議会

③コア事業の拡大・強化

i) 生体情報モニタリング事業

先進国／新興国別にラインアップを強化



※Invasive Blood Pressure 観血血圧

ii) システムソリューション事業

地域に合わせたシステム開発

診断情報システム

検査室

心電図, 脳波, 超音波や
内視鏡等のデータを収集・管理

臨床情報システム

重症病棟・手術室など

生体情報モニタや人工呼吸器等
のデータを収集・管理

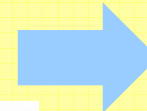
日本



PrimeVita



Dioram



Prime Gaia

米国



Neuro Workbench

HL/7※対応

欧州

Polaris.one

HL/7※対応

中国



Cardio Net

HL/7※対応（予）

手術支援システム
CAP-500（予）

HIS（病院基幹ネットワーク）

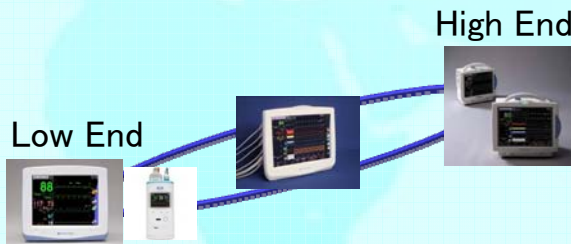
※ Health Level Seven. 医療情報システム
間における情報交換の標準規格

iii) 欧米市場

欧州

・現地ニーズに合った商品ラインアップの拡充

生体情報モニタ



救急市場向け
除細動器



12誘導心電図伝送

・販売チャネルの強化

ロシア販売網の整備 2010年6月
日本光電UKの設立 2010年9月

米国

バンダビルド大学による
Prefense™の医療安全・経済
的効果の研究結果を発表 2010年5月



認知度向上

Prefense™を足がかりに包括受注

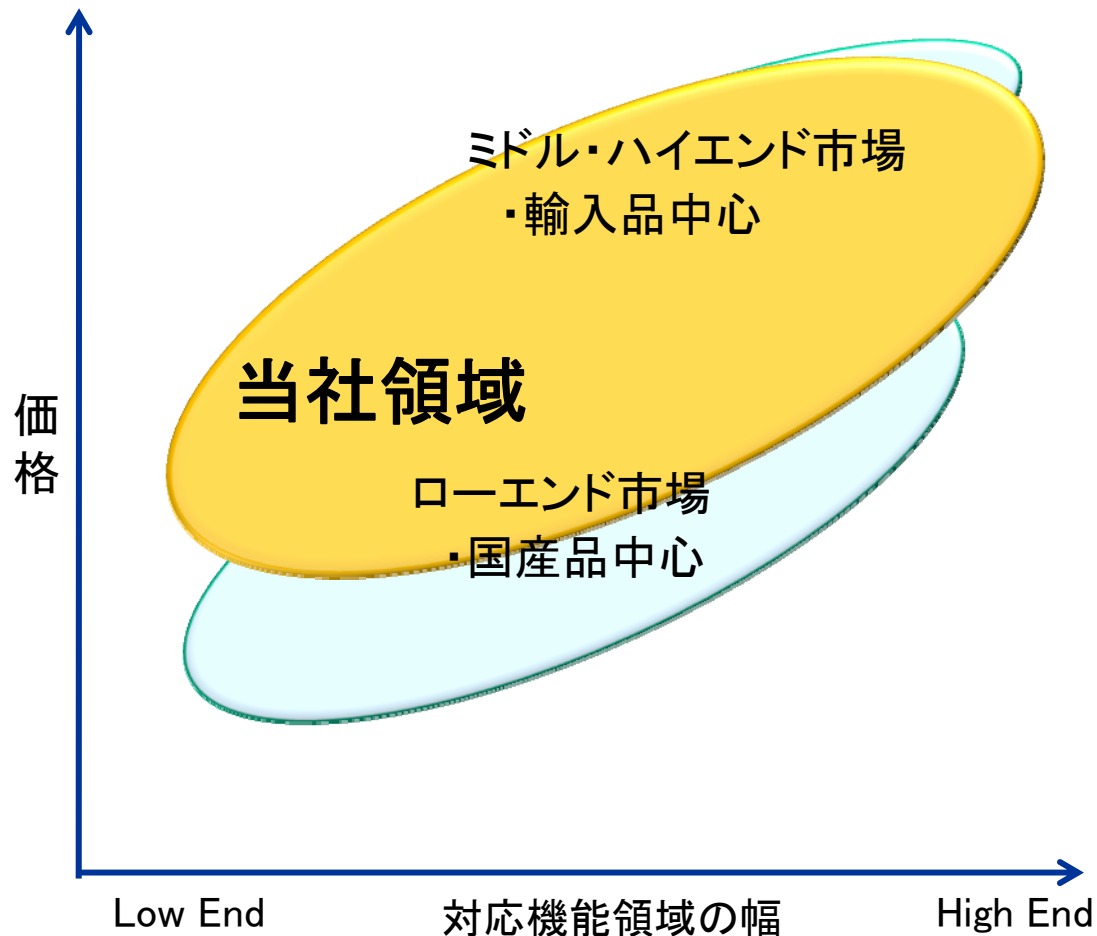


相乗効果でモニタ
商談受注@ICU等

Prefense™受注
@一般病棟

iv) 中国市場

製品ラインアップの拡充



ミドル・ハイエンド市場対策

生体情報モニタ

SFDA申請中
ベッドサイドモニタ

New!
2011/5
発売(予) 医用テレメータ

New!
2011/2
発売 セントラルモニタ

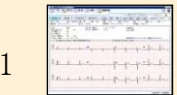
心電計群

New!
2010/8
発売



心電計

New!
2011/1
発売



心電図マネジメントシステム

New!
2011/4
発売



ホルター心電計

血球計数器



5分類測定

New!
2010/8
発売



試薬

ローエンド市場上層の攻略

普及タイプの現地生産品の拡充

SFDA
申請中



ベッドサイドモニタ

New!
2010/5
発売



心電計

2010/3
発売



3分類測定

v) 新興国市場

BRICS販売網の整備・強化

■ 2010年6月

ロシアDelrus社と総代理店契約

スパン日本光電ダイアグノスティクス
(SNK)

日本光電インドア設立

2011年3月

日本製
中上位機種

中国製
普及機種

インドSNK
製試薬

日本光電インドア

2次代理店

エンドユーザ

ブラジルに
販売拠点設立

■ 2011年度中予定

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003